

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

わたし達かぞくの家

グループの名称

みやぎ家創りの会

直近採択グループ番号

06-0620-0080

(グループ代表者)

代表者名

阿部 力

代表者印

代表者所属先

株式会社produce・D

代表者所在地

宮城県多賀城市町前2丁目7-6

代表者電話番号

022-290-5441

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社グリーンハウザー

事務局担当者名

後藤 克彦

印

事務局郵便番号

983-0013

事務局所在地

宮城県仙台市宮城野区中野字上小袋田18番1

事務局電話番号

022-254-4172

事務局FAX

022-258-7720

事務局担当者E-mail

kt.goto@greenhouser.jtchd.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	わたし達かぞくの家
2. グループの名称(必須)	みやぎ家創りの会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0620-0080
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	宮城県、山形県
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	阿部 カ
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社produce-D
8. グループ代表者所在地(必須)	宮城県多賀城市町前2丁目7-6
9. グループ代表者電話番号(必須)	022-290-5441
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社グリーンハウザー
11. グループ事務局担当者名(必須)	後藤 克彦
12. グループ事務局郵便番号(必須)	983-0013
13. グループ事務局所在地(必須)	宮城県仙台市宮城野区中野字上小袋田18番1
14. グループ事務局電話番号(必須)	022-254-4172
15. グループ事務局FAX番号(必須)	022-258-7720
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	kt.goto@greenhouserjtchdj.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	1	合法木材(国外)は、親会社であるウッドワンを登録。
II. 製材・集成材製造・合板製造	1	合法木材(国外)は、親会社であるウッドワンを登録。
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	0	合法木材(国外)は、親会社であるウッドワンを登録。
IV. プレカット	2	
V. 設計	1	
VI. 施工	5	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木村製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成16年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木村製品(合法伐採木材等証明)	国内・国外		
			番号記入欄		
A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	<input type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する	国産材	3	国内	
	<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する	外材	3	国外	
	<input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する	国産材	2	国内	
	<input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する	外材	2	国外	
	<input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する	国産材	2	国内	
	<input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する	国産材	2	国内	
	<input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する	外材	2	国外	
	<input type="checkbox"/> FIPIC認証制度を利用する	国産材	2	国内	
	<input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明	国産材	4	国内	
	<input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明	外材	4	国外	
	ラジャータハイン LVL	ニュージーランド	合法木材証明制度	2	国外
	ラジャータハイン LVL	ニュージーランド	合法木材証明制度	3	国外

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸			
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸			
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸			
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸				
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸				
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸				
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸				
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸				
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸					
			上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	戸					
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸					
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸					
			上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	戸					
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸					
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	確定物件を有する施工業者を優先し、それ以上の補助枠には要注が確実になった施工業者に配分する。								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	戸		交付申請戸数	戸		完了実績(竣工予定含む)戸数	戸	
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	戸		交付申請戸数	戸		完了実績(竣工予定含む)戸数	戸	
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	戸		交付申請戸数	戸		完了実績(竣工予定含む)戸数	戸		
優良建築物型									
採択棟数	棟		交付申請戸数	棟		完了実績(竣工予定含む)棟数	戸		
採択床面積	m <sup>2</sup>		交付申請床面積	m <sup>2</sup>		完了実績(竣工予定含む)床面積	m <sup>2</sup>		





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) わたし達がぞくの家	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県、山形県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) みやぎ家創りの会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0620-0080	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	震災を経験し「地震に強い家創り」、冬季の厳しい寒さで心地よく暮らせる「暖かい家創り」をする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	プランの初期段階から耐震性を配慮した設計ルールを提案し、地震に強い家を建築する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	居住環境の維持向上に配慮するため、自治体による街なみ・景観ガイドライン等があるかどうかを確認し、ある場合は尊重・遵守する。	○
④①～③の背景	東日本大震災より安全・安心して暮らすための高品質住宅づくりが大切なこと、東北地方という気候の厳しいエリアであること、および環境を破壊せず次世代につなぐことが大切なことより、諸状況を周知の地域密着の地場工務店が主体的に取り組むことが大切である。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	高品質住宅を建築する力をつけ環境保全意識を高めるため、施工事業者全員が性能住宅を建築する。	○
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 土台・梁桁・柱のサイズは、105mmを基本とする。やむおえない場合は、部分的に120mmを使用する。	◎
①-2 使用建材の統一	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 環境に配慮した建材の商品リスト・資料をメーカーから取り寄せ、グループ内で協議する。	○
①-3 標準仕様の設定	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 技術勉強会にて断熱材・サッシ等省エネに関する部分についての仕様を協議する。	○
②-1 建材・資材調達の商品化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構成員の流通業者より安価で仕入れ可能なものや各建材・資材・設備の商品リスト・資料を用意し、グループで集中購買の協議をする。	○
②-2 調達事務の合理化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 共通の建材・資材としたリスト作成を協議する。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 原木供給・製材・流通・プレカット工場など業者の数を増やすことで、コストを考慮し、随時選定できるようにする。技術勉強会にて長期優良住宅に関する部分の施工方法を協議し、施工品質向上、ロス減少により生産性の向上をはかる。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 技術勉強会にて協議した議事録を保管する。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 断熱性維持、品質安定を目的に、建築現場で断熱材施工を確認・研修して施工方法の共通化をはかる。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 性能担保のための施工におけるチェックポイントを技術勉強会で協議し、リストアップする。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の見積書を協議し、消費者に分かりやすい表記・説明につとめる。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場見学会を実施し、建築現場にて耐震・省エネ・劣化・維持管理対応について現物を利用して説明する。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 業務内容を共有できるように、休日者のサポートを相互に出来るように努力する。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 社内基準を明確に設け、その達成率等で評価するように努力する。	○
③ 社会保険への加入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 各施工等で、社会保険への加入を促すよう努力する。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 現場での随時安全チェックの他に、ノー残業デー等を導入するように努力する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	施主からの要望があれば、第三者機関(財)ベターリビングにて長期優良住宅に関する現場検査または建設性能評価を行う。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) わたし達かぞくの家	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県、山形県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) みやぎ家創りの会	(結成年) 2012 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0620-0080		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄			
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 申請図書、施工時使用図書を住宅履歴として保管する。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 情報サービス機関の活用具合を確認し、取り入れについて協議する	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 工務店ごとの履歴情報の保管方法を事務局で保管する	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 技術勉強会で協議して維持管理計画書・定期点検チェックリスト作成する。	○
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期点検チェックリストに補修内容を記載する。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 修繕記録を保管する。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場見学会を活用し消費者に建築過程をご案内し、施主にて行う点検やお手入れ方法を説明する。	○
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場見学会を活用し、木工ブースを設けて木にふれてもらう。	○
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場見学会を活用し、“住まいの相談コーナー”を設け対応する。	○
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 技術勉強会にて定期点検チェックリスト・現場施工写真実施状況を確認する。	○	
	⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期点検を実施した現場の定期点検チェックリストを事務局にて保管する。	○	
	b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局内に「住まい手相談窓口」を設置し、廃業・倒産事業者が出た際は、同一エリアの施工店にて維持保全を継続対応する。(有償)	○
		② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 技術勉強会にて雨水・構造についてチェックポイントを協議し、定期点検チェックリストにくわえる。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄			
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場見学会を活用し、耐震に対応する基礎・構造材、省エネに対応する断熱材、劣化対応、維持管理に対応する設備等の仕様および施工状況を確認・研修する。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構造材・断熱材の施工写真をとる。	◎	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各工務店は住宅履歴に施工写真を保管する。	○	
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅の長寿命化、省エネ化の方向にむけ、それに対応できる地域型住宅グループとなるよう未経験工務店数を増やす。	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 5年後に登録構成員に未経験工務店ゼロを達成する。	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計は、安全を担保しながら材料削減、省力化のための合理化設計を行う。	○	
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 7 今年度の参加目標人数 3	○
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 3		○	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局より省エネ技術講習会の開催日時を案内し、受講終了番号を事務局にて保管する。		○	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ住宅への取組みを協議する。	○	
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ住宅に関する一般公開セミナー活用で知識向上に取組む。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) わたし達かぞくの家	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県、山形県													
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) みやぎ家創りの会	(結成年) 2012 年													
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0620-0080														
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。															
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	合法性証明制度による、ニュージーランド産ラジアータパイン(LVL)を主要構造材(土台・梁桁・柱)に50%以上使用する。	◎												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎												
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>地域活性化のため東北地方の合法木材を積極的に使用する。 I 原木供給、II 製材、III 建材流通(中間流通業者を含む&lt;商流&gt;)、IVプレカット、V 設計、VI 施工 (地域材の流れ、代表的なフローで例外的に異なる場合あり) ○LVL I → II → III → IV → VI (←V) わたし達かぞくの家</p> <p>* LVL材は林野庁作成ガイドラインに基づく独自の合法性証明 II ⇄ IV 合法性・持続可能な証明に関わる協定</p>													
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: プレカット事業者が地域材状況など変動がある場合、構成員にメール等で共有できるようにしている。	○												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: プレカット事業者が地域材状況など変動がある場合、構成員にメール等で共有できるようにしている。	○												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 原木供給・製材において、繁忙期でも安定供給対応できるよう地域材の対応ができる構成員をグループにしている。	○												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域での畳についての情報をとりグループで協議し、また業者を検討する。	○												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域での和瓦についての情報をとりグループで協議し、また業者を検討する。	○												
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和室がある場合、地域での襖についての情報をとりグループで協議し、また業者を検討する。	○												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和室がある場合、地域での障子についての情報をとりグループで協議し、また業者を検討する。	○												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 伝統的な素材について意見交換して理解を深め、取り入れるものはないかグループで協議する。	○												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 伝統的街づくり、家づくりを”重要伝統的建造物群”にて技術勉強会で協議する。	○												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 宮城に昔からある仙台筆筒を暮らし方に提案できないかグループで協議する。	○												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 気候、気象にたいして、意見交換でこれまでの暮らしについて大切なところをふまえ、グループの住宅づくりに取組む。	○												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 外観の色合いが周囲と調和がとれるようにまた、緑を取り入れるように心がける。	○												
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和の住まいについてグループ内で意見交換し理解を深める。	○												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。														
カ. その他															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
東日本大震災の復興に資する取組	東日本大震災の被災地域であり、快適で安全・安心な家を消費者へご提供できるよう”わたし達かぞくの家”が地域に根差した住宅づくりの1つになるよう取組む。	○													
平成28年熊本地震の復興に資する取組	安心して暮らせる家づくりが大切であり、耐震性の高く安全な家づくりが一層重要であると認識し住宅づくりに取組む。	○													

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> わたし達かぞくの家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 宮城県、山形県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> みやぎ家創りの会	<small>(結成年)</small> 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0620-0080	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<div style="border: 1px solid black; height: 750px; width: 100%;"></div>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。